

2024年5月24日

課題名：ナビゲーション対応ハイスピードドリルを用いた刺入経路作成は頸椎椎弓根スク
リュー挿入精度を向上させたか

◆研究の目的と概要◆

当院では、ナビゲーション対応ハイスピードドリルを用いた刺入経路作成は頸椎椎弓根スク
リュー挿入精度を向上させたかに関して調べています。

本研究では、頸椎椎弓根スクリュー逸脱率とその合併症を明らかにし、合併症リスクを減ら
すことを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年1月～2023年12月に頸椎椎弓根スクリューを使用した患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、BMI、診断名、固定椎間数、逸脱率、逸脱方向、合併症、CT画像

◆情報の研究利用開始日◆

2024年6月4日

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は
利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、
以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で
発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

整形外科 研究責任者 小野弘征

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明